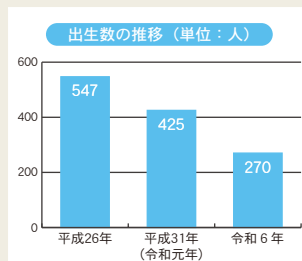


市内の 出生数が減少

市内の出生数の推移を見ると、平成26年の出生数は547人。5年後の31年（令和元年）には122人減少して425人となり、さらに5年後の令和6年には155人減少し、270人となっています。

10年前と比べると、半分以上の出生数となり、大きく減少している状況となっています。



妊娠し、新しい家族を迎えることは、楽しみや喜びである一方で、不安や悩みを抱える人も少なくありません。

インターネットなどでたくさん情報があふれている今、不安を取り除くために調べているのに、何が正しいのか迷い、さらに不安になる人もいます。子育ては人それぞれ。周りと比べ

自分のペースで子育て

厚生労働省が発表した、令和6年の出生数は68万6061人。女性1人が生涯に産む子どもの数を表す合計特殊出生率は、1・15と、いずれも過去最低水準となりました。全国的に出生数の減少が進み、本市では、昨年の出生数が270人となり、前年より51人減少。この少子化の勢いが止まらない状況は、市全体で考えなければならぬ重要な課題です。

子育てを取り巻く環境

ず、自分に合った子育てをしていくことが大切です。

ほっと心が緩む場所

市では、子どもを安心して産み、育てていける環境づくりのため、親子の健康増進や育児など、妊娠から子育てまで、切れ目のない子育て支援の取り組みを進めています。子育てする人たちが情報共有し、楽しいと思える出会いの場の一つとして、サロンなどを開催しています。

子育てする側が健やかでいることで、子どもも健やかにのびのびと成長します。子ども優先の日々の中でも、肩の力を抜いて、自分自身が心地よく過ごす時間を持つたり、笑顔になる時間が必要です。

無理せず自分らしく子育てを楽しんでほしい。そのために、子どもだけでなく、子育てをする大人も、ほっとでき、笑顔につながる子育ての輪が広がっています。

特集

笑顔がつながる出会い

地域を元気にする子どもたちの笑顔——。その笑顔を守るために、本市では、妊娠・出産・子育てを支援しています。そして、その支援を通じて、出会った人と交流が生まれています。笑顔と支援の輪を広げているその活動から、安心して子育てをするために大切なことを考えます。